



2023年9月13日(水)

第1回 多忙化解消推進会議

徳島県庁にて

9月13日(水)、第1回 多忙化解消推進会議がありました。徳島県教職員団体連合会をはじめとする県内4教組と徳島県教育委員会の7つの課の担当者22名が出席しました。県教育委員会から示された資料「とくしまの学校における働き方改革プラン(第2期)の取組状況」によると成果(令和2年度・3年度・4年度)として時間外在校等時間が小学校では、令和2年度約45時間→令和3年度約34時間→令和4年度約33時間【約26%の減】。中学校では、令和2年度約62時間→令和3年度約45時間→令和4年度約47時間【約25%の減】であることが示されました。成果としては、・業務改善による負担の軽減。・教員、地域、保護者の意識の変化。から、第2期プランの目標であった、時間外在校等時間を令和2年度比「25%以上」削減を小・中学校で達成。

課題としては、☆勤務時間に対して業務量が多すぎる☆人員不足☆業務負担の偏り☆部活動の負担 等が示されました。参加者からは、目標の立て方についての再検討、より簡単なシステムの導入、数字だけではない心の健康(メンタルヘルス)の調査の必要性等が意見として出されました。

9月13日(水)

第1回 多忙化解消推進会議



徳教団をはじめとする県内4教組と徳島県教育委員会の7つの課の担当者22名が出席しました。県教委から示された資料「とくしまの学校における働き方改革プラン(第2期)の取組状況」によると

成果(令和2年度・3年度・4年度)として時間外在校等時間が小学校では、令和2年度約45時間→令和3年度約34時間→令和4年度約33時間【約26%の減】

中学校では、令和2年度約62時間→令和3年度約45時間→令和4年度約47時間【約25%の減】であることが示されました。

成果としては、

- ・業務改善による負担の軽減
- ・教員・地域・保護者の意識の変化

から第2期プランの目標であった、時間外在校等時間を令和2年度比「25%以上」削減を小・中学校で達成

課題としては、

- ・勤務時間に対して業務量が多すぎる
- ・人員不足
- ・業務負担の偏り
- ・部活動の負担 等が示されました。

参加者からは、目標の立て方についての再検討、より簡単なシステムの導入、数字だけではない心の健康(メンタルヘルス)の調査の必要性等が意見として出されました。